

高部新聞

Takabe Times

創刊号

地理研究サークル 熊谷地理研究会

GeoStick

熊谷地理研究会 発行

2010年

4月25日(日)

大学生が集落活性化のお手伝い



はじめまして。熊谷地理研究会会長の浜田大介です。私たちは立正大学地球環境科学部地理学科の学生で「地理学とは何か」をテーマに活動しています。今回福島県が募集した「大学生の力を活用した集落活性化調査委託事業」に熊谷地理研究会が応募し、いわき市川前町高部集落とご縁があり1年間皆さんと集落活性化調査を行ってきました。活性化の一環として今回から「高部新聞」を発行していこうということになりました。高部の皆さんの元気な姿と四季折々の美しさ、イベント情報などを発信していこうと考えています。今回は、この1年間の活動をお伝えします。

昨年8月7日から4日間にわたって、聞き取り調査や地域の方々との交流を目的とした「ひまわり会議」を行いました。

聞き取り調査では、高部の方々の暖かさやもてなしの心に触れるとともに、「川がきれいだ」、「秋の紅葉がきれい」、「おいしい食材がある」など豊富な地域資源があることが分かりました。一方で、「若者がいない」、「お祭りが盛り上がらない」、「健康の不安がある」などの人的資源面で多くの問題があることが分かりました。



ひまわり会議では、聞き取り調査の報告、いいところマップの作成、引率の高木亨先生の講演を行いました。調査の報告では、住民同士でもあまり知られていない伝説や昔の話も出てきて、学生以上に住民の方々が感心して聞いていました。いいところマップ作成では、出てきた情報を地図に落とす作業を行い、皆さんの知っていることをたくさん教えてもらいました。教えてもらったことを「高部のいいところMAP」を作っていました。時には、熱く議論する場面もあり楽しく進められました。最後の高木先生による講演は、皆さん真剣に聞いていました。「よそ者、ばか者、若者」の話や、地域の度量をポパイに例えるなど分かりやすく楽しい講演となりました。短い時間ではありましたが、住民の皆さんとの距離の縮まるとても貴重な時間でした。

お祭にも参加！

10月11日に行われた八坂神社と愛宕神社の例大祭にも参加しました。秋晴れといった天気の中、集会所にはおふかしやお供え物などが用意され、お祭りという名の山登りが始まりました。どちらの神社も山の上であり、登り慣れていない学生たちはカニ歩きで登って行きました。途中、ロッククライミングをしているのではないかという錯覚に陥るほどの坂を上り、落ち葉に足を取られて何回も滑りながら、なんとか山の上の神社にお供え物を供えることができました。参拝後は、へトへトになっ帰ってきた。集会所に着くと、目の前で獲れたアユや、杵と臼を使ってついた出来たての真っ白なお餅を住民のみさんが作って待っていてくれました。住民の皆さんがつくってくれたご馳走はほんとにおいしかったです。参拝は大変ですが、また参加したいです。



5月22日に田植えをします！

5月22日(土)に、高部の皆様のご協力を頂いて大学生が田植えを体験します。昨年の調査を経て、いくつか活性化案を考えています。その中の一つに、高部の魅力を存分に体験できる「高部体験」があります。これは高部で味わえる農業体験、郷土料理、山菜取り、川釣り、ホテル観賞、民泊などを通して高部のよさを知ってもらおうというものです。まずは、大学生が田植えを体験し、外部の方々にも体験できるようにしていきたいと思っています。田んぼは住民の方の一部をお借りし、大学生と住民との共同で育てていきたいと考えています。また、休耕田や畔などの場所には、ひまわり会議にちなんでひまわり畑を作ろうと考えています。

今後の予定

- 5月 田植え(22日)
- 6月 報告会
- 8月 活性化調査、ひまわり会議、ホテル観賞会など
- 10月 高部地区例大祭(八坂神社、愛宕神社)
- 3月 ひまわり会議



詳しい情報や活動の様子は公式HPへ！
<http://www.geostick.jimdo.com/>
または、「熊谷地理研究会」で検索！

